

明治廿七年四月十五日

寄生蜂の敵虫 臘肭獸及臘虎(承前)

第六卷 一四六

を始め活潑に運動せり然るふ最初羽化したるもの凡そ四十八時間を経て死を始めたなり

●寄生蜂の敵虫 寄生蜂は松ケムシの爲には敵虫

なれども吾々の爲には害虫たる松ケムシを暗々裡に多く斃すを以て有益虫なる事を常に承知せり然るに此の有益虫たる寄生蜂を斃す所の敵虫を發見せり是れ一種の小形なる甲虫の幼虫にまて頻りに寄生蜂の繭を噛み破りて蛹を食盡するを見たり

以上三件 四月四日 在岐阜市 名 和 靖

●臘肭獸及臘虎 (承前)

ぷりびろーぶ群島ハ、ペーりんぐ海ノ中央ニアル四個ノ小島ヨリナリ北太平洋中最モ目立タヌ島ナリうーなうまゆか(ありゆーしやん) 郡島中ノ一島北百九十二哩せんとまり志ゆーノ南二百哩ノ處ニアリスノ如ク遠ク陸地ヲ隔テ、人ノ注意ヲ惹クコト少ナキカ上ニ冬季ハ氷塊漂流以南ニアルヲ以テカノ氷塊ニ伴ヒ來ル白熊等ノ害敵少ナク夏期おつとせいの蕃殖期ニ至レハ十日ノ内凡ソ九日間ハ殆ント濃霧島ヲ蔽

ヒ朦朧トシテ天日ヲ見ス殊ニ絶海ノ小島ニシテ村落ニ遠ク人ノ之ヲ妨クルコトナクおつとせいの爲ニハ實ニ天恩ノ好蕃殖場ナリ

此近海ハ南太平洋ヨリ環流スル所ノ暖流アルヲ以テ同緯度ノ地方ヨリ稍暖カナリ且ツ北方寒流ノ流通アルヲ以テ夏期及ヒ初秋ノ間ハ常ニ陰霧多シトス十月中旬ニ至レハさいべりや地方ヨリ吹キ來ル寒キ強風ノ爲全ク霧ヲ吹キ拂フ一月下旬ヨリ二月ノ間ハ北風ノ爲氷塊吹キ寄せテレ時トシテハ磯打波ヲ遮キルヲアリ例年四月ニ至レハ氷塊初メテ解ク五月ニ至リテ海岸ニ氷雪ノ跡ヲ留メス氷雪ノ融解シ終ルヤ濃霧即チ島ヲ蔽フ故ニ冬去レハ夏來リ春秋ノ候ナシ又夏期ト雖トモ陰濕ニシテ冷涼嘗テ日光ヲ見ズ平常冬ノ平均最低温度ハ華氏廿六度ナリ冬ノ風ハ方向不定ニテ常ニ雪霰之ニ伴ヒ來リ戶外ニ出ルヲ能ハス最高温度ハ七月ニアリテ四十六度乃至五十度ニ至ル、おつとせいの蕃殖場ハぷりびろーぶ群島(米領)及ヒこんまんがー群島(露領)ニ限リ他ノ島嶼ニナキハ大ニ故アリ蓋シ